



文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））  
独立行政法人日本芸術文化振興会

2025 都民芸術フェスティバル 参加公演

日本オペラ協会公演  
日本オペラシリーズNo.87

なかにし礼 作・台本 / 三木 稔 作曲  
オペラ全3幕  
〈字幕(日本語/英語)付き日本語上演〉  
ニュープロダクション



Shizuka  
and  
Yoshitsune

総監督 | 郡 愛子

指揮 | 田中祐子 演出 | 生田みゆき

3/8 SAT

3/9 SUN

静  
義経  
頼朝  
弁慶  
磯の禪師  
政子  
大姫  
梶原景時  
和田義盛  
大江広元  
佐藤忠信  
伊勢三郎  
片岡経春  
安達清経  
堀ノ藤次  
藤次の妻

砂川 涼子  
澤崎 一了  
須藤 慎吾  
江原 啓之  
鳥木 弥生  
川越 塔子  
芝野 遥香  
持木 弘  
川久保 博史  
三浦 克次  
和下田 大典  
琉子 健太郎  
山田 大智  
黄木 透  
別府 真也  
きのした ひろこ

相樂 和子  
海道 弘昭  
村松 恒矢  
杉尾 真吾  
城守 香  
家田 紀子  
別府 美沙子  
角田 和弘  
勝又 康介  
中村 靖  
竹内 利樹  
濱田 翔  
龍 進一郎  
平尾 啓  
江原 実  
吉田 郁恵

よしの山  
みねの白雲 ふみわけて  
入りにし人の 跡を恋しき

江原啓之 (バリトン) × 郡 愛子 (日本オペラ協会総監督)  
3月9日(日)アフタートーク開催  
ゲスト 田中祐子(指揮) 生田みゆき(演出)  
※終演後、会場ロビーにて(手話通訳あり)  
※事前予約不要。当日の公演チケットをお持ちの方のみ

2025年 3月8(土)・9(日) 各日とも 14:00開演 東京文化会館大ホール

開場13:00 \*各日とも13:15から作品解説をいたします。 上演時間: 約3時間 好評発売中!!

S ¥16,000 A ¥13,000 B ¥10,000 C ¥7,000 D ¥5,000 E ¥3,000 (税込)

■青春割引: B席~E席2,000円(25歳以下/枚数限定/座席指定不可) ■ヤング・フレッシュマンチケット: S席・A席を半額(25歳以下/枚数限定)  
■障がい者割引: S席~C席を20%割引(要お問合せ/枚数限定) \*特別割引につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターのみで取り扱い。詳細はお問い合わせください。

●お問い合わせ・予約 | 日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00~18:00) <https://www.jof.or.jp>

●チケット販売所  
・東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650  
・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 267-122)  
・ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 34242)  
・イープラス <https://eplus.jp/>  
・teket <https://teket.jp/> ※電子チケット

鑑賞サポート対象公演  
・ヒアリンググループ  
・手話通訳(作品解説)・筆談ボード  
・点字パンフレット(概要版)  
webでのチケットご購入はこちら

\*詳細は日本オペラ振興会チケットセンターへお問い合わせください

■主催: 公益財団法人日本オペラ振興会、公益社団法人日本演奏連盟 ■都民芸術フェスティバル主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団  
■助成: 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

なかにし礼 作・台本 / 三木 稔 作曲  
オペラ全3幕

〈字幕(日本語/英語)付き日本語上演〉  
ニュープロダクション



歴史と音楽が紡ぐ、儚くも美しい名作日本オペラ。ここでしか味わえない感動を。

**オ**ペラ「静と義経」は、1993年鎌倉芸術館の開館記念委嘱作品として三木稔作曲にて製作されました。同年、台本作者である作詞家なかにし礼の演出により初演され、絢爛豪華なステージとして大成功を収めました。武士が権力を握った時代を象徴する歴史上の数々の登場人物に加え、様式美も感じさせるドラマティックな音楽により、壮美なグランドオペラとして仕上げられたこの作品は、ジャパントイムズをはじめとして各種音楽評でも絶賛されました。

2018年に日本オペラ協会は創立60周年を迎え、その記念公演として2019年3月に新宿文化センターで東京初演を行い、両日満員のお客様にご来場いただきました。監修になかにし礼を迎え、「作品の本質に迫る公演」としてメディアにも多数取り上げられ、大盛況のうちに終演いたしました。

あれから6年、今回新たなプロダクションとして生まれ変わります。指揮は前回に引き続き、日本オペラの指揮者として絶大の信頼を得ている田中祐子、演出には、東京藝術大学大学院を修了し、現在日本を代表する劇団「文学座」の演出を務める生田みゆきが日本オペラ協会初登場。出演者には、砂川涼子、相樂和子、澤崎一了、海道弘昭、須藤慎吾、村松恒矢をはじめ、日本オペラ協会が誇る数多くの歌手を配しました。

吉野山から始まる悲劇——義経への想いを貫き通す静の、悲しくも華々しいグランドオペラです。当会30周年振りとなる「音楽の殿堂」東京文化会館での公演に、どうぞご期待ください!

静と義経  
Shizuka and Yoshitsune

**STORY** 1185年11月、義経主従は雪降る冬の吉野山を越えようとしていた。義経は

静御前に都へ戻るよう頼むが、彼女は泣いて拒否する。静は義経の子を身籠っており、義経は静に財宝と初音の鼓を形見として渡し、山を下りよう説得する。静は泣きながらも山を下りる決心をするが、二人の案内人に財宝を奪われ、暴行される。静は再会を信じて山を下り始める。

1186年4月、鶴岡八幡宮で静御前が舞を奉納する。頼朝は静が義経を想う歌を歌ったことで怒り、静の胎内の子供が男児なら殺すと決定する。静の母、磯の禪師は悲しい祈りを捧げる。

1186年7月、静は男児を出産し、子供は頼朝の命令で殺される。静は死にゆく我が子のために子守唄を歌い、義経が衣川で死ぬ場面が重なる。静は都に帰らないと決意し、四重唱が哀切を極める。1189年6月、義経の首が鎌倉に届けられ、頼朝とその仲間たちが議論する。頼朝は涙を見せるが、その涙の意味は不明瞭である。静と磯の禪師が現れ、静は母に都へ帰るよう促されるが、自ら命を絶つ。雪が舞い落ち、物語は終わりを迎える。



指揮 田中祐子  
Yuko TANAKA



演出 生田みゆき  
Miyuki IKUTA

3/8 SAT

3/9 SUN

 砂川 涼子 Ryoko SUNAKAWA	 澤崎 一了 Kazuaki SAWASAKI	 須藤 慎吾 Shingo SUDO	 江原 啓之 Hiroyuki EHARA
 鳥木 弥生 Yayoi TORIKI	 川越 塔子 Toko KAWAGOE	 芝野 遥香 Michika SHIBANO	 持木 弘 Hiroshi MOCHIKI
 川久保 博史 Hiroshi KAWAKUBO	 三浦 克次 Katsuki MIURA	 和下田 大典 Daisuke WAGETA	 琉子 健太郎 Kentaro RYUSHI
 山田 大智 Taichi YAMADA	 黄木 透 Toru OKI	 別府 真也 Shinya BEPPU	 きのした ひろこ Hiroko KINOSHITA

 相樂 和子 Kazuko SAGARA	 海道 弘昭 Hiroaki KAIIDO	 村松 恒矢 Koya MURAMATSU	 杉尾 真吾 Shingo SUGIO
 城守 香 Kaori SHIROMORI	 家田 紀子 Noriko IEDA	 別府 美沙子 Misako BEPPU	 角田 和弘 Kazuhiro TSUNODA
 勝又 康介 Kosuke KATSUMATA	 中村 靖 Yasushi NAKAMURA	 竹内 利樹 Toshiki TAKEUCHI	 濱田 翔 Sho HAMADA
 龍 進一郎 Shinichiro RYU	 平尾 啓 Hiroshi HIRAO	 江原 実 Minoru EBARA	 吉田 郁恵 Ikue YOSHIDA

合唱：日本オペラ協会合唱団 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 二十絃箏：山田 明美 鼓：高橋 明邦

STAFF 合唱指揮：諸遊耕史 美術：鈴木俊朗、佐藤みどり 衣裳：坂井田 操 照明：矢口雅敏 振付・所作：出雲 蓉 舞台監督：八木清市 副指揮：平野桂子、鍋木蓉馬 演出助手：伊奈山明子

NPO法人日本音楽生涯学習振興協会は、藤原歌劇団・日本オペラ協会の本公演を応援しています!

日音協会では、地域住民のための生涯学習『童謡コーラス』『みんなの音楽会』の2つの支援事業を推進しています



『童謡コーラス』名曲大合唱 & みんなの音楽会テレビ レギュラーコーナー「みんなのオペラ」では、日本オペラ振興会の公演や歌手をご紹介します。  
東京 MX テレビ (MX2ch) 毎週日曜 朝 9 時 30 分~/テレビ神奈川 毎週日曜 朝 10 時 00 分~/テレビ埼玉 毎週日曜 朝 9 時 15 分~